

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	割掛対象表参考内訳書 2/5 工事用機械分解組立費(鋼管擁壁工)で使用する機械について 鋼管擁壁工の鋼管杭圧入施工に使用する『ジャイロパイラー(44.5t)』の記載がありません。『ジャイロパイラー(44.5t)』の運搬および組立・解体費用についての、お考えをお教え下さい。よろしくお願ひします。	分解・組立・運搬の費用については、関連する単価項目に含まれています。
2	割掛対象表参考内訳書1/5 工事用機械分解組立費（オープンケーソン）の基地からの運搬、クローラクレーン80 t 級・2台-2往復、クラムシェル1.0m3級：2台-2往復について、 ①ケーソン掘削用クラムシェルのバケットは記載の通り標準的な0.8m3級ではなく1.0m3でお考えでしょうか。 ②記載の通りクラムシェルとは別に、圧入設備架払の揚重機は80 t クローラクレーンでの施工で、合計2台の揚重機をお考えでしょうか。ご教示ください。	①割掛参考内訳書に記載のとおり1.0m3でお考え下さい。 ②掘削と圧入設備架払は同一重機での施工を想定しています。 後日、設計図書を訂正いたします。
3	トマム川橋下部工図79/110、95/110 P1・P2橋脚オープンケーソン止水壁詳細図に腹起し (H-300・H-350・H-400) の図が記載されていますが、ジョイント部などの詳細や仕様が記載されていません。見積が困難と考えますが設計単価は公表されますか。ご教示ください。	5/29付け訂正公告をご確認ください。 なお、単価公表に関する質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回答
4	特記仕様書P38オープンケーソン 特記仕様書オープンケーソン支払い項目で、濁水処理（ケーソン内）についての記載がありませんが、①配布数量計算書の通り、坑内濁水処理・スライム処理工をお考えでしょうか。②また、凝集剤・設備設置撤去もお考えでしょうか。ご教示ください。	①②特記仕様書27-8 (7) に記載のとおりお考え下さい。
5	単価番号176・177刃口金物製作・据付 ①圧入ケーソンの刃口金物製作費は、見積あるいは工法協会積算基準のどちらでお考えでしょうか。 ②刃口金物製作における輸送費の計上はお考えでしょうか。ご教示ください。	①②積算に関する質問のためお答えできません。
6	割掛対象表参考内訳書4/5 コンクリート寒中養生費の養生は、圧入ケーソンのどのロットでお考えでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
7	参考図5/25 トマム橋A2の河川迂回設置撤去の波型管 φ 1100はコルゲート管を想定との回答がありましたが、コルゲート管 φ 1100は標準品ではありませんが、 ①コルゲート管 φ 1100の単価は公表されますか。②図面記載の45度エルボ（特注品）は計上されて、公表されますか。③撤去品はスクラップもしくは指定箇所への運搬どちらをお考えでしょうか。ご教示ください。	①φ 1200コルゲート管(JIS G 3471)を想定しています。後日、設計図書を訂正します。 ②単価公表に関する質問にはお答えできません。 ③割掛参考内訳書に記載のとおり処分を想定しています。 なお、スクラップについては特記仕様書29-1 (8) に記載のとおりお考え下さい。
8	参考図5/25 トマム橋A2の河川迂回設置撤去の集水ます1.5*1.5*1.5と1.5*1.5*0.5は①Pca製品でしょうか。②製品単価は公表されますか。③もし現場打とお考えならば生コン数量・型枠数量等をご教示ください。	①③参考図5/25に記載のとおりです。 ②単価公表に関する質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回答
9	<p>参考図5/25 トマム橋A2の河川迂回設置撤去の波型鉄板柵渠B=1.10m, W=1.5mとは、①幅1.5m、支柱間隔1.10mでしょうか。②高さは1.5mでしょうか。③敷板は必要でしょうか。④撤去品はスクラップましくは指定箇所の運搬どちらをお考えでしょうか。詳細をご教示ください。</p>	<p>①②幅が1.5m、支柱間隔は1.0m、高さが1.1mを想定しています。 ③割掛参考内訳書に記載のとおり敷鉄板は想定していません。 ④割掛け参考内訳書に記載のとおり処分を想定しています。</p>
10	<p>トマム川橋の施工について 河川内施工となるP1・P2（1年目：R7.11.15～R8.3.31、2年目：R8.8.1～R9.3.31）を最優先で行う必要があると認識しています。PAN WALL工法 設計・施工指針等を基に施工計画立案（協会にも確認）、A1隣接の補強土壁撤去・新設は約4ヶ月程度かかる見込みです。上部工引渡し時期を考慮すると、上記補強土壁とA1構築は、約6.5ヶ月（R8.5.1～11.15）で行う必要があり、P1の2年目施工と同時に進める必要があると考えます。 現状のヤード計画では、P1とA1の同時施工は不可能であると考えますが、工事実施時に、仮設計画等について協議していただくことは可能でしょうか。</p>	<p>ヤード整備工については率計上工事としておりますので、契約後監督員と別途協議となります。</p>
11	<p>地山補強土壁工 パネル数量について 左記工種 設計図 のり面 17/20の展開図から 折れ点③から④ 13.995 m。この間のパネル数：標準板（H=1.2m、L=1.8m：数量表から）8枚、端尺板2枚ですが、L=1.8m * 8枚 = 14.4mとなり 施工延長を超えます。使用パネル数量をご確認下さい。</p>	<p>CSパネルのサイズは1200×1500が正となります。 後日、設計図書を訂正いたします。</p>